

しかいグループ 岩崎

今回の活動では、まずは前回の振り返りをしました。子どもたちは、「案内用の地図（幼稚園から庄内南小学校まで）を作りたい」と言っていたことを覚えていて、家庭で地図を作ってきた子もいて、持ってきた地図を発表していました。

その後は、その作ってくれた地図をもとにみんなで地図作りをしました。子どもたちは地図以外にも「迷子の子がいたら、旗を持って案内する」や「お母さんたちが小学校分かるように看板作る」など話し合い、旗や看板も作っていました。

次回は、夏休み明けの活動となるので、夏休み中に何ができるかを話し合うと「ルールを印刷して、それを自分たちで書いておく」と話していました。

ルールを印刷した用紙を、ドキュメンテーションと一緒にお渡ししますので、是非子どもたちと書いてみてください。



作った地図を先生に見てもらい、見えづらい所を聞きました。

としたグループ 本山

今回の年下グループは、ひよこ・りす・うさぎ・もも組のクラスにお手伝いをしにいきました。行く前には、しっかり前回の手遊びを覚えているか尋ねると「だいじょうぶ！」や「しっかりやったよ！」とやる気満々の子もたちでした。各クラスへ行くとお着替えや給食の準備、園庭で一緒に遊ぶなど沢山お手伝いをしていました。

クラスに戻って振り返りをしたあと、各クラスの流行っている手遊びを発表しました。「きらきらぼし」の歌があるよ！と言っていたので、「手遊びとかないのかな？」と尋ねると「つくったらいやん！」と次回までの間に「きらきらぼし」の手遊びを考えてきて発表しようという話になりました。ぜひ、ご家庭と一緒に考えることが出来れば、一緒に考えてあげてください。

子どもたちがお手伝いに行ったクラスで流行っている手遊びを聞くと、『とんとんとんとんひげいさん』『グーチョキパー』『とんとんとんとんアンパンマン』『りんごがころころ』が流行っているそうです。ご家庭でも一緒に練習してみてください。



外遊びでお部屋に連れて行ってあげる姿や虫を探してあげていました。



どうぐグループ 足立

今回は前回の話を振り返ってから、2グループに分かれ年少・年中組に行きどのような手伝いがいるのか聞きました。少し恥ずかしそうにしながらも各クラスの保育者に話を聞くことができていました。

部屋に戻ってきてからは、どのような話を聞いたのか全体で共有し、年少では『フラフープのような道具を（競技中に）出してほしい』、年中では『腕輪の飾り付けを考えてほしい』等発表していました。

最後に次回の活動日が夏休み明けということで夏休み中に出来ることを考えました。『道具を運ぶためには力がある』ということで「運動<トレーニング>する」「マラソンをする」「買い物に行った時、荷物を持つ」等の意見が挙がりました。

※上記の『運動』や『荷物を持つ』の話を保護者の方も夏休み期間中、無理の無い範囲で子どもに声を掛けて頂けるとお手伝い隊の活動が今後、より深まると思いますのでご協力お願い致します。



何かお手伝い出来ることはありますか？



きゅうきゅうたいグループ 木村

今回の救急隊グループは熱中症対策と新型コロナウイルス感染対策をどのようにお知らせしていくか考えました。子どもたちと一緒に考え、熱中症対策では「お茶を飲む」「朝ご飯をしっかり食べる」、新型コロナウイルス感染対策として「マスクつけてね」「手洗いうがい」等を出した後にはパソコンで他の対策を調べました。いくつかの対策を出したのちにどうやって知らせるか問かけると「放送」「看板」「手紙」の3種類が出てきたので、家でしてくること、小学校でできることを分けながらどの対策をどの方法で知らせるかを分類分けしました。

その後放送の練習では「お茶を飲んでください」「離れてしゃべって下さい」「お友達とあまりしゃべらないようにしてね」等、自分なりに考えてアナウンスする姿がありました。



なつやすみのあいだにほうそうのれんしゅうをしておいてね！



1人でも2人でも放送の練習！